

- 台風第11号の豪雨では甲子園球場約9杯分の庄下川の洪水を排水。尼崎市のゼロメートル地帯の浸水被害を防止！ —

位置図



概要

- 松島排水機場は庄下川洪水を、左門殿川に排水することにより、尼崎市のゼロメートル地帯の浸水被害の発生を防止。
- 排水能力の低下は大きな浸水被害が想定され、県ではポンプ等の機器が本来の機能を常時発揮するように適切な点検・修繕を実施。

松島排水機場

- 建設時期: 昭和44年(建設から45年経過)
- 排水能力: 91m³/秒(県下の河川排水機場では最大の排水能力を持ち、建設当時は東洋一と謳われた)



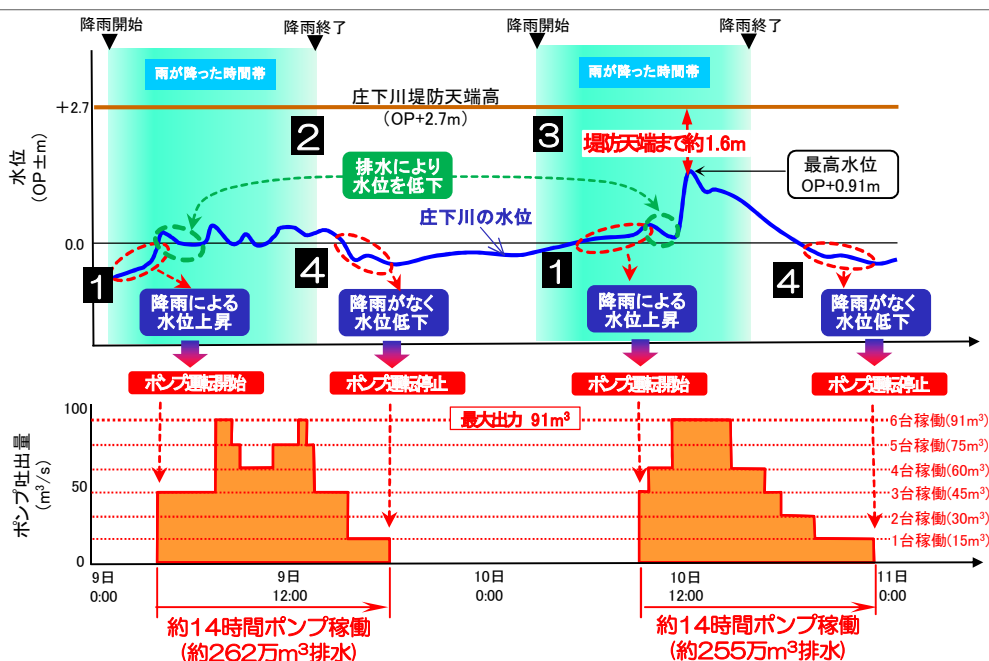
松島排水機場



ポンプ設置状況(口径2,300m×6台)

事業効果(台風第11号)

- ・庄下川の水位状況に応じて、ポンプ6台全てを運転し、堤防天端高以下に水位上昇を抑えた。
- ・排水ポンプを計約28時間運転し、約520万m³(甲子園球場約9杯分相当)を排水。



- 1 降雨により、庄下川が増水
- 2 庄下川の水位上昇に応じてポンプを運転。排水により水位を低下。その後の最大流量を待ち受ける。
- 3 庄下川が堤防を超えないように排水運転(今回:堤防天端まで約1.6m)
- 4 雨がやみ、庄下川の水位低下を確認し運転を停止